

館内施設のご紹介

- 美術情報センター** 全国の展覧会案内、美術関係の図書、映像ソフトなどを無料でご利用いただけます。
- レストラン** 80席あるゆとりの空間で、ゆったりとした時間をお過ごしいただけます。
- カフェ** オープンテラスもあり、お飲み物のほかサンドイッチなど軽食やケーキもご用意しています。
- ミュージアムショップ** 当館オリジナルグッズやポストカード、美術図書などを販売しています。

各種催しのご紹介

美術館をさらに楽しく利用していただくために、当館では展覧会以外にも以下のような各種催しを実施しています。

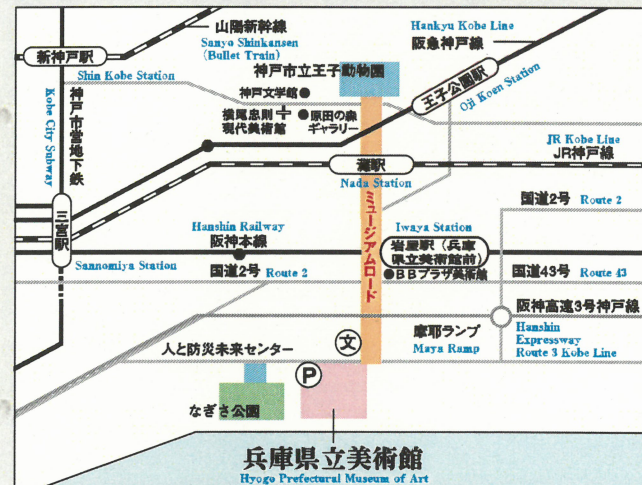
- 講演会** 美術鑑賞をさらに深めていただくために、展覧会関連の講演会を開催しています。また、KEN-VI文化セミナーでは、著名な文化人をお招きした講演会を開催しています。
- ガイドツアー** 金・土・日曜日の午後1時から、ミュージアム・ボランティアによるコレクション展のガイドツアーを行っています(要コレクション展観覧券)。
- 解説会** 日曜日の午前11時から、ミュージアム・ボランティアによる特別展の解説会を行っています(特別展開催期間中:無料)。
- 美術講座** 自分でも作品づくりをしてみたい方のための実技講座を実施しています。
- こどものためのプログラム** 展覧会鑑賞と制作を組み合わせた「こどものイベント」やアーティストによるワークショップなどを、月に1~2回行っています。
- 映画会** ミュージアムホールで、月に1回程度劇場映画上映会を行っています。
- コンサート** 館内の様々なスペースを利用した多彩なコンサートを週末に(年間約50回)開催しています。

※くわしい内容やスケジュールについては、当館の情報誌「HART」やホームページ、催しごとのご案内をご覧ください。

表紙 吉村益信《豚・pig lib.》1971年 山村コレクション
フランスのグラフィック・デザイナー、レイモン・サヴィニャックによる、胴体がハムになった豚をコミカルに表現したハム会社のためのポスターに着想を得た作品。女性解放運動のウーマン・リブになぞらえて「豚の解放」としたタイトルと、剥製を用いたリアルな造形によって、豚を食料の原料としてのみ見る現代社会を鋭く風刺している。

美術館ご利用案内

- 開館時間
午前10時~午後6時(入場は午後5時30分まで)
夜間開館 特別展開催中の金・土曜日
午前10時~午後8時(入場は午後7時30分まで)
※ただし、美術情報センターの利用時間は午前10時~午後6時
- 休館日
月曜日(祝休日の場合は翌日)ただし4月30日(火)は開館
年末年始(12月31日、1月1日)
メンテナンス休館(1月2日~1月10日)
- 観覧料金
●特別展 展覧会によって異なります。
●コレクション展(収蔵品によるテーマ展・館外作品を中心とした小企画展)
一般/500(400)<300>円
大学生/400(300)<200>円
()は20名以上の団体、< >は特別展セット割引料金です。
※高校生以下無料。
※障がいのある方(70歳以上を除く)は各観覧料金の75%割引、その介護者(1名)は無料。
※70歳以上の方は一般料金の半額。



- 交通アクセス
- 電車**
○阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南へ徒歩約8分
○JR灘駅南口から南へ徒歩約10分
○阪急王子公園駅西口から南西へ徒歩約20分
- バス**
○JR三ノ宮駅から、阪神バス「HAT神戸行き」、神戸市バス「101系統」「29系統」にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ
- 車**
○阪神高速3号神戸線「摩耶ランプ」から「摩耶ランプ南」交差点を西へ「摩耶ランプ」から約5分
○国道2号から「岩屋中町4」交差点を南へ
○地下有料駐車場 乗用車80台
○団体バス待機所 要事前予約

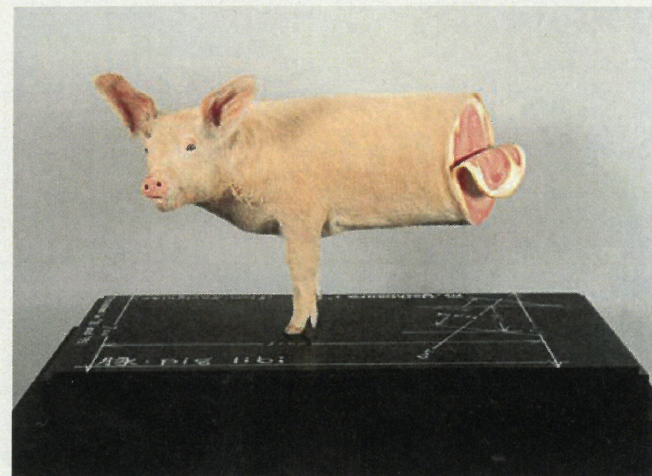
兵庫県立美術館「芸術の館」
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 [HAT神戸内]
TEL 078-262-0901 FAX 078-262-0903
https://www.artm.pref.hyogo.jp/

30教 2-029A4



〈2019年度〉 展覧会のご案内

2019.4 ▶ 2020.3



吉村益信《豚・pig lib.》1971年 山村コレクション

Exhibition Guide

コレクション展

当館では、前身である県立近代美術館時代から国内外の彫刻、版画のほか兵庫ゆかりの作家を中心に、日本の近現代美術を収集してきました。この展示では、1年を3期に分けて、収蔵品によるテーマ展・館外作品も含む小企画を開催します。(詳細は裏面)

小企画

常設展示室の一角を使った企画展。所蔵作家に外部からの借用作品を加えることで、テーマ性を持った展示を行います。

特集

特定のテーマにしたがって所蔵作品を展示し、美術鑑賞に新しい視点を打ち出します。
※3期を通じて以下の展示も行います。

小磯良平記念室・金山平三記念室(常設展示室2階)

神戸に生まれた近代日本洋画を代表する小磯良平、金山平三の2人の画家の記念室では、年間を通じてそれぞれ代表作を中心に20数点を展示しています。



金山平三《大石田の最上川》1948年頃
※掲載されている作品が展示されていないこともありますので、ご了承ください。



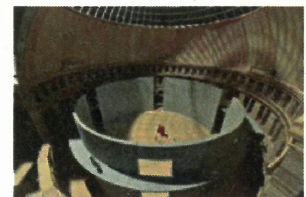
小磯良平《斉唱》1941年

第2展示棟 (Ando Gallery)

建築家・安藤忠雄氏の作品模型等を展示する施設が、2019年5月下旬にオープンします。



第2展示棟外観



【最新プロジェクト
Bourse de Commerce 模型】



【震災復興プロジェクト
兵庫県立美術館+神戸市水際広場 模型】

